

# 高浜再稼働認めず

# 福井地裁が高浜原発運転に「待った！」

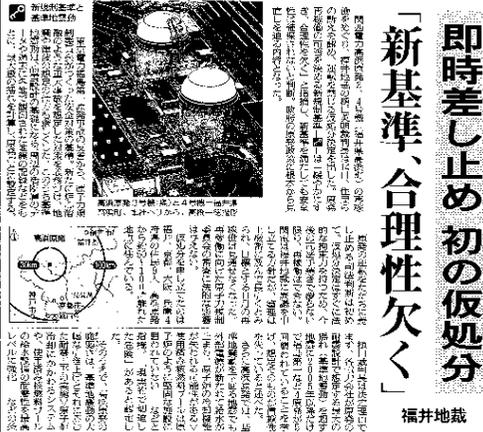
## —新規制基準では、安全は確保されない—

4月14日福井地裁は、住民の人格権に基づいて、高浜原発3・4号機の運転差止めを認める画期的な仮処分決定を下しました。

決定は、「新規制基準は緩やかにすぎ、これに適合しても本件原発の安全性は確保されていない」とし、緊急に運転を差し止める必要性を強調し、新規制基準に基づく新たな安全神話を一蹴しました。

また、関西電力の主張に対しては、「基準地震動を超える地震が高浜原発には到来しないというのは根拠の乏しい楽観的な見通しにしかすぎない」と、断罪しました。

国と電力会社は、去年の福井地裁判決、今回の仮処分決定を真摯に受け止め、原発ゼロへ舵を切るべきです。



福井地裁

## 電力会社と国は、司法の判断に従え

### 司法判断と世論は合致

福井地裁決定について「毎日」調査は「評価する」67%。日テレ調査でも、仮処分決定「支持」65・7%で「不支持」22・5%を大きく引き離しました。最も新しいNHKの世論調査は、「原子力規制委が認めた原発は再稼働を進める」という安倍政権の方針に、「賛成」は22%だけで、「反対」が47%と2倍以上にのぼっています。

原発の再稼働を差し止めた司法の判断は、圧倒的多数の国民世論と合致したものです。

### 電源構成比率 原発ゼロ前提にすべき

安倍政権の「エネルギー基本計画」にもとづき、どのエネルギーでどのぐらい電源を賅うかの「エネルギーミックス」（電源構成）の比率の検討が大詰めです。

経済産業省や自民党の原発推進派、財界、電力会社からは、「原子力を『ベースロード電源』と位置づけ、原発だけで20~25%を目指すべきだ」などの声が上がっていますが、とんでもありません。

全国の原発が相次いで停止し、1年半以上「原発ゼロ」が続いていますが、電力は足りています。電源構成は「原発ゼロ」を前提にすべきです。



**ZENROREN 全労連** 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620  
http://www.zenroren.gr.jp

2015.5

原発即時ゼロを求め

福島100万人署名にご協力ください。

